

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	06	124140	振興センター等整備事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		58,245	56,672		-1,573
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	2,800	52,000		49,200
	その他	0	0		0
	一般財源	55,445	4,672		-50,773

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返		期間限定	~
------	--	-------	--	------	---

部重点施策における目標

地域づくりへの参加促進					
-------------	--	--	--	--	--

事業開始の背景・経緯

市内27箇所に振興センターを設置しているが、公民館や地域の集会施設、小学校などとして使用していた建物であり、建築後の年数もかなり経過していることから、長寿命化を図るために所要の整備（修繕等）を行っていく必要がある。					
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--

事業概要

改修工事実施設計業務委託 4,818千円 宮野目振興センター 建物調査・保全計画書作成業務委託 1,925千円 湯本振興センター 改修工事 49,929千円 矢沢振興センター					
--------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--

担当部署	05100000 地域振興部 地域づくり	担当課長	鈴木 淳子
------	----------------------	------	-------

意見・要望等の状況			

事業手法の詳細1

1. 改修工事実施設計業務委託	4,818千円		
(1) 宮野目振興センター改修工事実施設計業務委託		2,948,000円	
(2) 宮野目振興センター改修工事実施設計業務委託その2		1,870,000円	
2. 建物調査・保全計画書作成業務委託	1,925千円		
(1) 湯本振興センター建物調査・保全計画書作成業務委託		1,925,000円	
3. 改修工事	49,929千円		
(1) 矢沢振興センター改修工事		49,929,000円	

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	06	124150	在京人会運営補助事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		1,744	1,732		-12
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	1,744	1,732		-12

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

在京人会の円滑な運営を支援するために実施

事業開始の背景・経緯

--	--	--	--	--	--

事業概要

在京人会活動支援 1,732千円
在京人会運営補助、在京人会支援に係る職員旅費

担当部署	05100000 地域振興部 地域づくり	担当課長	鈴木 淳子
------	----------------------	------	-------

意見・要望等の状況

--	--	--	--

事業手法の詳細1

1. 在京人会運営費補助 1,671千円
在京人会の円滑な運営を支援するために交付。また、在京花巻ふるさと会の貸会議室（賃貸借）に要する経費を支援。

- (1) 在京花巻人会（補助率1/2）
 - ・補助対象経費 1,108千円
 - ・補助額 300千円
- (2) 在京石鳥谷人会（補助率1/2）
 - ・補助対象経費 265千円
 - ・補助額 132千円
- (3) 在京花巻市東和町友会（補助率1/2）
 - ・補助対象経費 79千円
 - ・補助額 39千円

- (4) 在京花巻ふるさと会（補助率10/10）
 - ・補助対象経費 1,218千円
 - ・補助額 1,200千円

在京大迫町人会は、令和2年度より活動休止

2. 在京人会総会出席職員旅費 61千円
(1) 在京花巻人会(11月) ... 地域振興部長、地域づくり課長 61,260円

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	06	124180	移住・定住促進等対策事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		5,952	11,243		5,291
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	5,952	11,243		5,291

特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標
定住・交流の推進

事業開始の背景・経緯
平成27年度に策定した「まち・ひと・しごと総合戦略」基本目標 「花巻市への新しい人の流れをつくる」の重点方針 移住定住を推進するという重点方針に基づき事業を開始した。

事業概要
移住定住ポータルサイトの運営と情報発信 3,195千円
移住相談窓口の充実 2,613千円
首都圏等でのPR活動・PRイベントの開催 50千円
同窓会の開催支援 0千円
テレワークモニター調査分析 5,385千円

担当部署	05200000 地域振興部 定住推進	担当課長	畠山夕子
------	---------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

移住・定住促進等対策事業 11,243千円

1. 移住定住ポータルサイトの運営と情報発信 3,195千円

 - ・移住定住支援に特化した情報を集約し、発信するため、平成27年度に運用を開始した「いいトコ花巻」を活用した移住定住支援情報を発信する。また「いいトコ花巻」による移住情報の更新作業を行うとともに、利用者数の増を目指しSNSを活用し周知を行った。
 - ・子育て支援情報に特化したポータルサイト「ママフレ」を運用するとともに子育て支援関係課と連携し、子育て情報をママフレユーザーに提供した。
 - ・移住ガイドブック「花巻ひと図鑑」による先輩移住者の紹介や多くの移住事例を紹介し、移住希望者が花巻での暮らしをイメージできるような情報発信を行った。
 - ・移住希望者の潜在層が多く登録している「SMOUT」を利用し、オンラインでの移住相談対応や、地域おこし協力隊の応募に係る募集を行ったり、幅広く本市への移住に関する情報発信を行った。
2. 移住相談窓口の充実 2,613千円

 - ・各地域における移住者の相談情報を集約。また、移住支援相談員を任用し、移住者の相談等にワンストップで対応した。
 - ・移住相談や移住情報の発信に係るスキルを向上させるため、各種セミナー等に移住支援相談員を派遣した。
3. 首都圏等でのPR活動・PRイベントの開催 50千円

 - ・ふるさと回帰センター（東京都）等において、移住情報や支援情報をPRした。
4. 同窓会の開催支援 0千円

 - ・市内で開催される20歳から45歳の同窓会の開催補助を行うものだが今年度も申請者なし。
5. テレワークモニター調査分析 5,385千円

 - ・花巻市としてテレワークに関してどのような取り組みができるのか検討するため、首都圏等から一定期間テレワーカーを誘致し、地方でのテレワークに関して望むこと、必要な環境等について意見をいただいたほか、テレワーク施設を利用している首都圏の方を対象にアンケート調査を行った。

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	06	124200	地域おこし促進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		31,788	27,240		-4,548
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	112	177		65
	一般財源	31,676	27,063		-4,613

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標
移住・交流の促進

事業開始の背景・経緯
総務省の地域おこし協力隊制度に関して、全国の活用事例等を調査した結果、地域おこしの促進と隊員の定住について一定の効果が見られ、特別交付税による財政支援もあることから平成27年度より積極的に実施を開始した。

事業概要
<p>地域おこし協力隊員による活動 24,090千円 市内の産業振興や企画立案・情報発信等を活動テーマに活動する地域おこし協力隊を支援し、任期後に向けたサポートを行う。</p> <p>地域おこし協力隊員の募集 3,150千円 地域と連携しながら課題を抽出の上、任期後も花巻市に定住できるようなテーマを設定し、協力隊を民間業者や専門家との連携により募集する。</p> <p>集落支援員による地域課題等の解決 0千円 過疎地域において、集落活動の支援を行う集落支援員を任命し、集落の支援活動を行う。また同地域に着任した地域おこし協力隊員と連携し、地域おこし活動を行う。</p>

担当部署	05200000 地域振興部 定住推進	担当課長	鈴木 早織
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1
地域おこし促進事業 27,240千円

【制度概要】
都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を移動し、生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱する。
総務省が平成21年度より開始した取り組みで、花巻市においては、平成27年度から開始。

【活動期間】
3年間 花巻市地域おこし協力隊設置要綱（H27.4.1）
R2年度より会計年度任用職員としての身分となる。

【総務省の支援】
地域おこし協力隊員等の活動に要する経費
地域おこし協力隊員の募集等に要する経費
おためし地域おこし協力隊実施に要する経費に対して特別交付税措置による財政支援あり。

- 地域おこし協力隊による活動 24,090千円 隊員は、一定期間、地域に居住して、地域ブランドの開発や販売・PR等の地域おこし支援や農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図ることを目的に活動する。
 - (1) 隊員報酬 15,576千円
継続隊員6名：花巻地域3名（シティプロモーション、ワインPR）
大迫地域2名（ぶどう栽培）
東和地域1名（グリーンツーリズム）
新規隊員2名：花巻地域2名（シティプロモーション）
 - (2) 隊員の活動費 7,514千円
共済費2,205千円、報償費198千円、旅費250千円、需用費1,771千円、役務費321千円、委託料537千円、借上料2,158千円、研修負担金74千円
 - (3) 協力隊の起業支援 1,000千円
起業支援補助金 1,000千円×1名 = 1,000千円
- 地域おこし協力隊の募集 3,150千円
委託費 3,150千円
地域おこし協力隊募集活動支援委託 1式 3,150,000円
- 集落支援員による地域課題等の解決 0千円

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	06	124220	婚活支援団体育成事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		333	7,166		6,833
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	4,495		4,495
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	333	2,671		2,338

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標
定住・交流の促進

事業開始の背景・経緯
平成27年度に策定した「まち・ひと・しごと総合戦略」基本目標 「花巻市への新しい人の流れをつくる」の重点方針 地元学生等の定着推進という重点方針に基づき事業を開始した。

事業概要
婚活活動支援団体等育成事業補助金 90千円 いきいき岩手結婚サポートセンター運営負担金 333千円 結婚新生活支援事業費補助金 6,743千円

担当部署	05200000 地域振興部 定住推進	担当課長	畠山 夕子
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1
婚活支援団体育成事業 7,166千円 1. 婚活活動支援団体等育成事業補助金 90千円 (1) 市内の婚活支援団体等が行う事業に対し、婚姻成立件数に応じ助成金(30千円/1件)を交付。 婚活活動支援団体等育成事業補助金 30千円×3件 2. いきいき岩手結婚サポートセンター運営負担金 333千円 (1) 「いきいき岩手結婚サポートセンター」の運営構成団体として運営をサポートし、同団体のiサポと連携の上、婚活活動支援事業を検討し実施した。また婚活活動支援について、近隣自治体との情報共有を図った。 いきいき岩手結婚サポートセンター運営負担金 333千円 3. 結婚新生活支援事業費補助金 6,743千円 (1) 市内の結婚世帯に対し、結婚に伴う新生活のスタートアップにかかる費用として、上限300千円/世帯を支援。 1 婚姻日における年齢が夫婦共に39歳以下で世帯所得400万円未満の世帯が対象 2 婚姻日における年齢が夫婦共に29歳以下で世帯所得400万円未満の世帯については、上限600千円/世帯 3 いきいき岩手支援財団が実施する「結婚新生活スタートアップセミナー」を夫婦ともに受講することが要件 結婚新生活支援事業費補助金 19件

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	06	124230	シティプロモーション推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		4,742	12,792		8,050
財源内訳	国費	0	2,500		2,500
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	4,000	10,000		6,000
	一般財源	742	292		-450

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

定住交流の促進

事業開始の背景・経緯

平成27年度に策定した「まち・ひと・しごと総合戦略」基本目標 「花巻市への新しい人の流れをつくる」の重点方針 移住定住を推進するという重点方針に基づき事業を開始した。

事業概要

花巻市の魅力発信 3,287千円
市のシティプロモーションサイト「まきまき花巻」を運営し、花巻が好きな人がそれぞれ花巻の魅力を発信する。

ブランディング推進 7,505千円
市内に所在する様々な魅力や資源を活用し、市のブランディングを図る。

サウンドプロモーション調査事業 2,000千円
移住定住に関する新しいプロモーション手法を検討するため、音を主軸とした応用検証を行う。

担当部署	05200000 地域振興部 定住推進	担当課長	鈴木 早織
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

シティプロモーション推進事業 12,792千円

- 「まきまき花巻」での魅力発信 3,287千円
首都圏等での本市の認知度を向上させるため、市と市民や移住希望者等が交流できる双方向参加型サイト「まきまき花巻」を運用し、市民ライターの目線で本誌の魅力を発信する。
 - 企画運営委託（まきまき花巻） 2,987千円
編集講座の開催 3回
WEBサイト活用講座 1回
記事制作
サイト企画・運営・編集等
 - 運営打合せ職員旅費 0千円
東京日帰り 31,000円×0回=0円
 - PR経費 300千円（前年度比±0円）
PR冊子購入500円×100冊×5回+500円×99冊×1回=299,500円
- 花巻市ブランディング推進 7,505千円
 - シティプロモーション支援業務委託 2,475千円
市内の伝統工芸品及びるんびにい美術館の市民に対する認知度向上を目的とし、市内伝統工芸品とるんびにい美術館のアート作品を掛け合わせた企画展示を実施
期間：令和4年2月4日～3月27日
開催場所：花巻市情報発信センター「ぷらっと花巻」
 - 恋人の聖地広域連携共同基盤事業負担金 5,030千円
恋人の聖地を有する市町村による共同基盤事業（広域連携デジタル・シティプロモーション事業）のための負担金

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	06	124230	シティプロモーション推進事業費

事業手法の詳細 2					
<p>3. サウンドプロモーション調査事業 2,000千円 移住定住に関する新しいプロモーション手法を検討するため、音を主軸とした応用検証を実施。</p> <p>(1) 調査事業委託 1,000千円 オンライン交流会の開催 音探しフィールドワークの開催 成果報告会の開催</p> <p>(2) 講師謝金・旅費 586千円 謝金 539,000円 旅費 東京1名(45,180円)、盛岡1名(1,800円) 46,980円</p> <p>(3) リーフレット作成経費 124千円 原稿作成協力謝礼 61,000円 リーフレット印刷費 63,360円</p> <p>(4) P R 経費 133千円 いわて銀河プラザ大型ビジョン P R 動画広告 100,000円 デジタルサイネージ P R 動画広告 33,000円</p> <p>(5) イベント開催経費 157千円 事務用消耗品 106,660円 バス・会場借上料 50,000円</p>					

事業手法の詳細 3					
This area is currently empty in the provided image					

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	06	124740	定住促進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		53,165	62,966		9,801
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	245	950		705
	地方債	0	0		0
	その他	50,000	58,000		8,000
	一般財源	2,920	4,016		1,096

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

定住・交流の促進

事業開始の背景・経緯

平成27年度に策定した「まち・ひと・しごと総合戦略」基本目標 「花巻市への新しい人の流れをつくる」の重点方針 移住定住を推進するという重点方針に基づき事業を開始した。

事業概要

花巻市子育て世帯住宅取得奨励金	34,500千円
空き家バンク制度の充実	848千円
花巻市定住促進住宅取得等補助金	26,118千円
花巻市若者世代空き家取得奨励金	1,500千円

担当部署	05200000 地域振興部 定住推進	担当課長	畠山 夕子
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

定住促進事業 62,966千円

- 子育て世帯住宅取得奨励金 34,500千円
報償費34,500千円（R3実績@300千円×115件）
親と同居または近居するために住宅を取得した子育て世帯及び市内各地域の中心市街地を生活サービス拠点に指定し、区域内に住宅を取得した子育て世帯を支援する。
（1）主な要件
中学生以下の子どもと同居する子育て世帯である。
平成30年4月1日以降に住宅取得（建築・購入）契約を締結
上記に加えいずれかに該当
親等と同居又は近居するために市内に住宅を取得
親等と同居又は近居しないが、市が定める生活サービス拠点の範囲内に住宅を取得
（2）奨励金単価
同居、近居、生活サービス拠点 300千円
都市機能誘導区域内 500千円
- 空き家バンク制度の充実 848千円
報償費800千円、消耗品費48千円
（1）空き家バンクに登録物件の拡充、移住希望者への情報発信 48千円
現在運用している空き家バンクの情報管理
登録物件数の増加を目指した周知活動及び登録物件の調査
全国空き家バンクとの連携
（2）空き家活用奨励金 800千円
市外の方と成約した空き家登録者への奨励金の交付
（R3実績@100千円×8件）
- 花巻市定住促進住宅取得等補助金 26,118千円（R3実績 15件）
（1）主な要件
子育て世帯や空き家バンク登録物件利用で県外から市内に転入し、住民登録してから2年以内に住民登録して5年以上定住する方に補助を行う。
農業に従事を希望し市外からの転入した方の住宅取得に補助を行う。
（2）補助金上限額（補助率1/2）
県外から転入（子育て世帯） 市内に新築又は住宅購入：最大200万円
県外から転入（空き家バンクを活用） 購入：最大220万円 貸借：120万円
県外から転入（新たに農業に従事） 市内に新築又は住宅購入：最大200万円
空き家バンクを活用し住宅購入：最大220万円
県内でもかつ市外から転入（新たに農業に従事） 市内に新築又は住宅購入：最大200万円
空き家バンクを活用し住宅購入：最大200万円
中古住宅の改修費用で市内事業者等が改修した場合は、限度額内で全額を補助する。
（3）補助対象経費
中古住宅の改修費用 住宅取得、賃貸、資金借り入れ手続きの経費
転校などにより学校で必要になる経費 引っ越しにかかる経費
引っ越し後の住宅で生活するために必要となる物品の購入費
火災保険料、地震保険料（1年分） 固定資産税相当額（1年分）

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	06	124740	定住促進事業費

事業手法の詳細 2
<p>4. 若者世代空き家取得奨励金 1,500千円 報償費 1,500千円 (R3実績@300千円×5件) 若者世代(39歳以下)の住宅取得を支援する。</p> <p>(1) 主な要件 若者世代(39歳以下)である。 花巻市空き家バンクに登録された空き家を取得する。 取得した空き家に5年以上定住する意思がある。</p> <p>(2) 奨励金単価 300千円 うち、1/2は県補助金</p>

事業手法の詳細 3

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	06	124760	地域おこし研究所運営事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		11,670	11,344		-326
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	11,670	11,344		-326

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	~		
------	-------	------	---	--	--

部重点施策における目標

定住交流の促進

事業開始の背景・経緯

市が抱える多様化した地域課題を解決していくために、また、課題をプロジェクト化できる高度人材を育成するために、社会イノベーションを担う人材育成を行っている慶應義塾大学SFC研究所との連携を検討した。

事業概要

地域おこし研究所運営 10,221千円
職員大学院派遣 1,123千円

市と大学が連携し、まちづくりの課題や各地域課題等の解決に向け、市民とともに共同研究を行う場を設定し活動する。また、花巻市の未来に資する研究開発ができる専門的な技術及び知識と能力を持った人材を育成する仕組みをつくり、継続的に地域課題の解決を図る。
その地域課題をもって、慶應義塾大学院政策メディア学部職員を派遣し、さらに研究を深める。

担当部署	05200000 地域振興部 定住推進	担当課長	畠山 夕子
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

--

事業手法の詳細1

地域おこし研究所運営事業 R3 11,344千円 (R3 11,670千円 前年比 326千円)

1. 地域おこし研究所運営 10,221千円(前年比+1,591千円)
まちづくりの課題や地域課題の解決を目指し、市職員それぞれが設定した研究実証活動を大学・地域等と連携し実施する。
2. 職員大学院派遣 1,123千円(前年比 1,917千円)
重要な政策課題解決に対応する専門的な技術及び知識と能力を有する人材を育成するため、職員を慶應義塾大学SFC政策・メディア研究科へ派遣する。

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	09	124370	地域協議会・地域自治推進委員会運営事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		373	272		-101
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	373	272		-101

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~		
------	-------	------	---	--	--

部重点施策における目標					

事業開始の背景・経緯					
合併の協定項目として、市の基本構想や各種計画の策定・改正に際して、地域住民の意見を反映させるため、花巻地域には地域自治推進委員会、大迫・石鳥谷・東和地域には地域協議会を設置					

事業概要					
地域協議会・地域自治推進委員会運営 272千円 地域協議会・地域自治推進委員会の開催に係る委員報酬等					

担当部署	05100000 地域振興部 地域づくり	担当課長	鈴木 淳子
------	----------------------	------	-------

意見・要望等の状況			

事業手法の詳細 1			
地域協議会・地域自治推進委員会運営 地域協議会においては花巻市地域自治区設置条例、花巻市地域自治推進委員会においては花巻市地域自治推進委員会条例により、委員の定数は15名以内、任期は2年となっている。			
1. 地域協議会・地域自治推進委員会委員報酬 240千円			
<ul style="list-style-type: none"> ・花巻 48,000円 ・大迫 48,000円 ・石鳥谷 56,000円 ・東和 88,000円 			
2. 地域協議会・地域自治推進委員会運営事業に係る経費 32千円			
(1) 需用費(事務用消耗品) 23,550円			
<ul style="list-style-type: none"> ・花巻 6,369円 ・大迫 7,501円 ・石鳥谷 9,680円 ・東和 0円 			
(2) 需用費(食糧費) 8,468円			
<ul style="list-style-type: none"> ・花巻 1,319円 ・大迫 2,100円 ・石鳥谷 1,820円 ・東和 3,229円 			
3. 開催回数			
<ul style="list-style-type: none"> ・H27 21回(花巻4回、大迫8回、石鳥谷4回、東和5回) ・H28 9回(花巻1回、大迫2回、石鳥谷3回、東和3回) ・H29 10回(花巻2回、大迫3回、石鳥谷3回、東和2回) ・H30 9回(花巻0回、大迫3回、石鳥谷2回、東和4回) ・R1 8回(花巻1回、大迫3回、石鳥谷2回、東和2回) ・R2 7回(花巻2回、大迫2回、石鳥谷2回、東和1回) ・R3 5回(花巻1回、大迫1回、石鳥谷1回、東和2回) 			

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	09	124380	地区行政推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		77,261	77,000		-261
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	1	1		0
	一般財源	77,260	76,999		-261

特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

事業開始の背景・経緯

行政と市民との円滑な情報伝達及び意見の取りまとめのために実施

事業概要

区長報償費 57,499千円
 広報等配布業務委託 3,532千円
 地区行政運営支援 14,911千円
 地区内の円滑な事務遂行支援のため地区行政運営交付金を交付
 区長業務及び区長会支援 1,058千円
 区長業務に関する経費のほか、研修事業等を支援するため区長会運営交付金を交付

担当部署	05100000 地域振興部 地域づくり	担当課長	鈴木 淳子
------	----------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

- 行政区長数 223名 任期は、令和2年4月1日～令和4年3月31日
 花巻市区長会組織 会長1名、副会長4名、理事25名、監事3名、会員190名
- 区長報償費 57,499千円
均等割額 (@232,000円×223名) + 世帯割額 (@7円×世帯数×23回) 57,498,822円
 - 広報等配布業務委託料 3,532千円
広報等配布23回 + ごみカレンダー配布1回 3,532,320円
 - 地区行政運営交付金 14,911千円
人口数額 (@100円×人口数×割増加算) + 班数額 (@1,000円×班数) 14,911,123円
 - 区長業務及び区長会支援 1,058千円
 区長会視察研修旅費 0円
 区長業務用需用費 145,530円 (回覧板、クリアケース、封筒等)
 区長業務用役務費 400,861円 (郵便料等)
 区長会支援 (運営交付金) 511,315円
 合計 1,057,706円

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	17	124670	市民憲章推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		310	305		-5
財源 内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	310	305		-5

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返		期間限定	~
------	--	-------	--	------	---

部重点施策における目標

--	--	--	--	--	--

事業開始の背景・経緯

花巻市民憲章推進協議会は昭和63年設立（新市民憲章 平成19年3月1日制定）。市民が力を合わせて明るいイーハトーブを実現するため、市民憲章運動を積極的に推進することを目的に設立。毎年標語コンクールや推進大会を開催している。

事業概要

花巻市民憲章推進協議会活動支援 305千円
花巻市民憲章推進協議会の事業運営への補助等

担当部署	05100000 地域振興部 地域づくり	担当課長	鈴木 淳子
------	----------------------	------	-------

意見・要望等の状況

--	--	--	--

事業手法の詳細 1

1. 花巻市民憲章推進協議会事業補助金 300千円
花巻市民憲章推進協議会の円滑な事業運営を支援するため、活動に対する補助を行う 300,000円
2. 市民憲章推進業務に係る経費 5千円
需用費 4,935円（消耗品費）

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	17	124680	コミュニティ助成事業推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		19,300	3,500		-15,800
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	19,300	3,500		-15,800
	一般財源	0	0		0

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

事業開始の背景・経緯
コミュニティ活動の健全な発展と宝くじの普及広報を目的として、昭和53年度より(一財)自治総合センターが様々なコミュニティ事業に対し助成を行っている。

事業概要
コミュニティ助成事業補助金 3,500千円 (一財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業の活用

担当部署	05100000 地域振興部 地域づくり	担当課長	鈴木 淳子
------	----------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1
<p>1. コミュニティ助成事業の流れ (1)~(5)は前年度実施、(6)~(9)は当該年度実施</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)(一財)自治総合センターから県へ募集通知 (2)県から市へ募集通知(市はHP、FMラジオで周知) (3)コミュニティ組織等は市へ申請書等提出(9月) (4)市から県へ申請書等提出(10月) (5)県から(一財)自治総合センターへ申請書等提出 (6)(一財)自治総合センターから県へ助成決定通知 (7)県から市へ助成決定通知(4月) (8)市からコミュニティ組織等へ助成決定通知(4月) (9)コミュニティ組織等は事業実施 <p>2. 令和3年度コミュニティ助成事業の採択団体 10/10助成市はトンネル補助</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)一般コミュニティ助成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ活動に直接必要な設備等(建築物、消耗品除く)の整備が対象 ・助成額は1,000千円~2,500千円まで 君ヶ沢振興会(宮野目) <ul style="list-style-type: none"> ・対象事業 公民館備品整備 ・事業費 1,193,830円 ・助成額 1,100,000円 安野自治会(矢沢) <ul style="list-style-type: none"> ・対象事業 公民館備品整備 ・事業費 2,400,200円 ・助成額 2,400,000円

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	04	174430	定住交流センター改修事業

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		73,601	231		-73,370
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	69,900	0		-69,900
	その他	0	0		0
	一般財源	3,701	231		-3,470

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返		期間限定	~
------	--	-------	--	------	---

部重点施策における目標

商店街の再生

事業開始の背景・経緯

定住交流センターは建築から29年経過し、建築・電気・機械設備等が耐用年数を超え、設備更新の必要性が生じている。

事業概要

定住交流センター改修事業 231千円
館内照明のLED化に向けた天井仕上材のアスベスト調査

担当部署	14100000 商工観光部 商工労政	担当課長	久保田 謙一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

--

事業手法の詳細 1

定住交流センター改修事業 231千円

- 定住交流センター天井仕上材アスベスト含有調査業務委託 231千円
館内照明のLED化に向けた天井仕上材のアスベスト調査

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	05	02	104440	自治公民館整備事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		7,444	5,590		-1,854
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	7,444	5,590		-1,854

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標					

事業開始の背景・経緯					
施設整備費用は、利用している地域住民だけでは負担が大きく、また、地域づくりの場の整備は市の責務である。					

事業概要					
自治公民館整備事業補助金 5,590千円 自治公民館の改修等に要する経費を補助					

担当部署	05100000 地域振興部 地域づくり	担当課長	鈴木 淳子
------	----------------------	------	-------

意見・要望等の状況			

事業手法の詳細 1			
自治公民館整備事業 自治公民館は、地域住民が集う場、地域活動を行う場及びコミュニティ形成の場として、人・地域づくりの振興及び地域の開発と発展に寄与している。利用する市民にとって快適な場となり、コミュニティ活動が推進されるよう、自治公民館の改修等に要する経費を補助。			
1. 補助対象経費 (1) 新築又は改築に要する経費... 補助率1/3以内 床面積により限度額設定：3,000千円、3,600千円、4,200千円 (2) 増築、改修及び修繕（300千円を超える事業）に要する経費... 補助率1/3以内 公共下水道・農業集落排水に係る給排水設備・合併処理浄化槽の設置に要する経費は1/2以内 限度額：1,800千円			
2. 補助事業の流れ (1) 自治公民館は市へ事業要望書等提出（前年度8～9月） (2) 事業要望書に基づき、予算要求 予算措置 (3) 市から要望のあった自治公民館へ補助事業の内示通知（4月） (4) 事業実施前に自治公民館は市へ補助金交付申請書等提出 (5) 市から申請のあった自治公民館へ補助金交付決定の通知 (6) 自治公民館は事業を実施 (7) 事業完了後、自治公民館は市へ補助金請求書等提出 (8) 市から請求のあった自治公民館へ補助金振込			
3. 自治公民館整備事業 5,590千円 交付先：市内自治公民館 13館 補助額：5,590,000円			

令和3年度自治公民館整備事業補助金 事業実施施設一覧

No	地区	自治公民館名	公民館所在地	事業主体	総工事費	補助金額 (内示)	補助金額 (変更)	補助金額 (決定)	補助率	事業種別	事業内容
1	花西	北万丁目公民館	中北万丁目228	北万丁目自治会	2,153,800	717,000		717,000	3分の1	改修・修繕	屋根塗装、床下断熱化
2	花西	ふじさわ会館	藤沢町357番地2	藤沢町振興会	1,320,000	440,000	366,000	366,000	3分の1	修繕	屋根塗装
3	湯口	古館公民館	中根子字古館75	古館親交会	2,233,000	744,000	550,000	550,000	3分の1	修繕	外壁塗装、屋根塗装
4	矢沢	鞍掛公民館	高松第26地割80	鞍掛公民館	2,403,084	801,000	793,000	793,000	3分の1	改修	床板張り替え、トイレ改修、窓の全面サッシ化
5	矢沢	安野自治公民館	高松第3地割156番地2	安野自治公民館	660,000	220,000		220,000	3分の1	修繕	屋根塗装
6	矢沢	二津屋公民館	東十二丁目21地割59番地	二津屋自治会	1,973,000	657,000		657,000	3分の1	修繕	屋根塗装、外壁補修
7	矢沢	島南集落センター	東十二丁目23-102	下組自治会	1,050,000	350,000		350,000	3分の1	改修	トイレ洋式化、間仕切り設置
8	宮野目	幅下公民館	東宮野目第1地割78-16	幅下自治会	359,700	119,000		119,000	3分の1	改修	廊下の床板重ね張り
9	笹間	小在家公民館	北笹間20地割39番地7	小在家公民館	2,385,212	795,000		795,000	3分の1	改修・修繕	トイレ簡易水洗化、屋根葺き替え
10	石鳥谷	鳥鳴田公民館	石鳥谷町新堀67-62-7	鳥鳴田公民館	995,731	331,000		331,000	3分の1	改修	トイレ簡易水洗化、手洗い器設置
11	東和	石鳩岡振興センター	東和町石鳩岡5区216番地	石鳩岡振興センター	728,200	242,000		242,000	3分の1	修繕	屋根塗装、雨樋工事
12	東和	軽井沢公民館	東和町前田1区257番地	軽井沢公民館	450,000	150,000		150,000	3分の1	修繕	屋根の雨漏り工事
13	東和	沢目集会所	東和町安俵10区1	沢目振興会	900,383	300,000		300,000	3分の1	修繕	外壁塗装
14						0					
					17,612,110	5,866,000	1,709,000	5,590,000			